

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	12-123	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Developmental prediction model for early alcohol initiation in Dutch adolescents. オランダ青年における早期の飲酒開始に対する発展予測モデル		
執筆者		
Geels LM, Vink JM, Van Beijsterveldt CE, Bartels M, Boomsma DI.		
掲載誌		
J Stud Alcohol Drugs. 2013 Jan;74(1):59-70.		
キーワード		
早期飲酒開始、オランダ、青年、遺伝的リスク、行動/感情問題		
要 旨		
目的： 10 代の青年において早期の飲酒開始の予測因子は多数存在する。遺伝的要因、小児期の行動問題、生涯イベント、生活習慣、家庭環境などである。我々は、先行研究により報告された方法をさらに発展させ、オランダの法的飲酒年齢（16 歳）未満における早期の飲酒開始に対する発展予測モデルを検討した。		
方法： 以前に飲酒開始と関連があると報告され前向きに測定した変数について、13～15 歳のオランダ人 1,804 人（56%女性）を対象に、パス解析を用いて検討を行った。予測因子には、飲酒開始および行動/感情問題に対する遺伝的リスク、親および小児期のストレス因子と小児期の行動/感情問題、および青年期の行動/感情問題、生活習慣、家庭環境および集団行動に関連した因子が含まれている。		
結果： モデルは早期の飲酒開始におけるバリエーションの 66%を説明した。飲酒開始に対して遺伝的高リスクを有し、かつ早期からの飲酒・喫煙を行っている友人を有する者は、16 歳未満の飲酒開始のリスク増加と関連していた。外在化行動問題は中等度また間接的に早期の飲酒開始と関連しており、内在化感情問題はわずかにまた間接的に早期の飲酒開始と関連していた。		
結論： オランダの飲酒に関する法律は相対的に寛大である。この寛容な環境下で、早期の飲酒開始は、飲酒特異的な遺伝的リスク、喫煙開始、および集団行動に関連した因子により説明される。その一方で、行動問題や感情問題は早期の飲酒開始に間接的にのみ関連していた。		